

12月20日、会社より24年春のダイヤ改に伴う提案を受けたが、5項目に及ぶ提案に対して協議の時間は1時間しかなく、一方的な説明に誠意を感じられない会社でした。

下記の提案項目について協議を行いました。

- ・平成24年春ダイヤ改正について
- ・女性運転士のワンマン列車乗務について
- ・中津川運輸区検修業務の集約について
- ・名古屋駅笹島構内の体制変更について
- ・構内入換作業の車両区への移管について

主なやりとり

組合側の主張

ダイヤ改正は必要と考えるが利用者へのスピードアップ、利便性の向上のみを追求するのではなく、安全性・安定性の向上とともに、そこに働く社員の労働条件、職場環境の改善も伴うものではなくてならない。

現状ではATS-PTに関連する基本動作が増えている。列車に遅れが発生すると、乗務員はそのたびに管理者から事情を聞かれる事が大きな苦痛になっている。

24年春のダイヤ改正について

組合：今回のダイヤ改正、JR東海としての目玉はなにか。

会社：施策内容の5項目である。

組合：お客様に喜んでもらえるものはなにか。

会社：相見駅の開業である。

組合：今回の提案、会社が業務の縮小と守りを固めに入ったと感じる。

なぜホームライナー太多を廃止するのか。

会社：乗車率が減ってきたことによる。

組合：ホームライナー太多が廃止となると直通列車がなくなり、お客さんに不便をかけることになりサービスの低下になる。

会社：その代わり普通列車を走らせる事になる。

組合：通勤時間帯に増やすのか。

会社：太多線、中央線でそれぞれ走らせることになる。

組合：ワンマン列車の停車時分の見直しが出されているがどの様に内容なのか

会社：実態に合わせて見直す。全体的には増やす方向にある。

組合：その理由はなんなのか。

会社：4次車の導入によるところもある。

組合：ワンマン列車の折り返し時間について何か基準はあるのか。

会社：必要な時間はとってある。
組合：折り返し時間がないと、列車が遅れた時、少しも回復できない。
会社：回復は折り返しだけではなく、行き違い等も考えて行っている。
組合：所要時間が増える列車はあるのか。
会社：あります。
組合：各運輸区で要員の増減があるがなぜなのか。
会社：ワンマン列車の拡大と構内入換作業の車両区への移管に伴うものによる。
組合：特急列車の2減はなにか
会社：「あさぎり」の車両持ち換えである。
組合：名古屋の列車[※]減はなぜか。
会社：ホームライナー太多の廃止による。
組合：愛知環状鉄道への直通運転の見直しはなぜか。
会社：利用者の減少による。
組合：土休日のみ取りやめることは利用者にとって混乱を招くことになるので、しっかりと情報を提供すること。
会社：それはその通りです。

女性運転士のワンマン列車乗務について

組合：なぜ今回実施するのか
会社：ワンマン列車の拡大によるものである。
組合：女性のワンマン運転に問題はないのか。
会社：深夜時間他は除いているから問題はない。
組合：今後、飯田線等での計画はないのか。
会社：現時点では考えていない。

中津川運輸区検修業務の集約について

組合：集約する理由はなんなのか
会社：現状の仕事内容を見た時、それほどの仕事量がないことによる。
組合：車両故障などはどの様に対応するのか。
会社：故障の内容によるが、重要な故障などは神領車両区から対応する。
組合：異常時はどうするのか。
会社：雪などの予想される異常時については事前に要員を配置する。

名古屋駅の体制変更

組合：笹島構内は8名だと思うが-3の減、3名は他の職場に行くことになるのか。
会社：管理者を入れて8名。そうなります。
組合：専任社員が多い職場になっているが本人の希望を尊重すること。

構内入換作業の車両区への移管について

組合：今回の名古屋運輸区と美濃太田運輸区からの移管提案は前回の神領運輸区と大垣運輸区にと続く移管提案であるが、本人の希望を優先し、専任社員と高齢者に配慮をすること。
会社：人事は会社が責任を持って行います。
組合：今回の提案は項目が多いのに時間が少なく、分からない部分もあり、持ち帰り各職場で検討し、申として要求を出して行く。

以 上